

伏木富山港湾事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

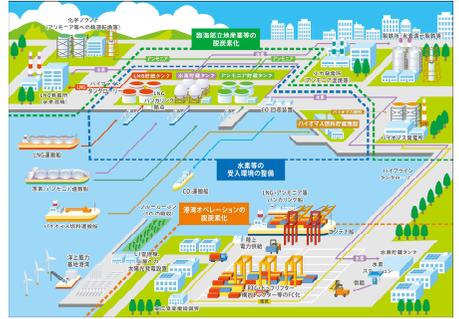


私ども伏木富山港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種施策を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、伏木富山港の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



伏木富山港カーボンニュートラル形成への取組

伏木富山港湾事務所は富山県や民間企業と共同で脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて「カーボンニュートラルポート(CNP)」を形成し、我が国全体の脱炭素社会の実現に貢献していくこととされています。
伏木富山港CNP形成計画の策定に向けて、富山県が設置する「伏木富山港CNP検討協議会」に参画し、官民連携してCNPの形成に向けた検討を進めます。



CNPイメージ(出典:国土交通省港湾局)

【目標】 2021年度:検討協議会を立上げ → 2023年度:伏木富山港CNP形成計画の策定 → 計画目標達成に向けた取組



総合学習・出前講座の実施

高岡市ならびに射水市では、市内の小学5年生を対象に暮らしを支える「みなと(港湾)」の仕組みや役割についての知識を深め、地域を学び・理解してもらうことを目的とした「みなと見学会」及び「みなとの出前講座」を実施しており、当事務所職員が講師として協力しています。



【目標】 2022年度:13校 → 2030年度:38校



新湊地区 中央ふ頭再編整備の推進

伏木富山港新湊地区中央ふ頭では、船舶の大型化、取扱貨物の増加による滞船を解消するため、中央2号岸壁の増深改良(水深14m化)を行うとともに、係留施設の老朽化対策、貨物の集約、ふ頭用地の利用方法を見直すなど、ふ頭の再編を推進しています。

